

受験生の皆さんへのお願い（新型コロナウイルス感染症対策）（9/4 掲載）

武蔵野美術大学では入学試験に際して、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置を講じております。受験生の皆さんにご協力をお願いしたいことをまとめましたので試験日までには必ずご確認ください。

なお、今後の感染症の状況等により、内容が変更となる場合があります。試験当日まで定期的に確認ください。

出願にあたり以下のことをご確認ください

- 出願が完了しても、以下に当てはまる方は受験できません。
 - 新型コロナウイルスなど学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない人。
 - 保健所等から新型コロナウイルス感染症罹患者の濃厚接触者に該当するとされ、試験日までに自宅待機等の隔離・待機期間が過ぎていない人。
 - 大学構内(試験会場内)で飲食時を除きマスクを着用していない人。
 - 試験日当日に入学試験場で検温し、37.5 度以上の発熱があると認められた人。
 - 試験日当日に発熱や咳などの症状があり、受験できないと本学が判断した人。
- 新型コロナウイルス感染症等に罹患した方で受験が出来なかった場合、一般選抜の一部の方式以外の入学試験では、振替入試や追試験は実施しません。
一般選抜の振替入試については詳細が決まり次第公表します(12 月予定)。
- 試験当日までに発熱や咳などの症状がある場合は、あらかじめ医療機関で受診してください。
- 他の疾患の罹患リスクを減らすためにも、インフルエンザワクチン等の予防接種を受けることが望ましいとされています。機会に応じて検討してください。
- 日ごろから手洗い・手指消毒・咳エチケットの徹底・身体的距離の確保・「三密」回避などを行うとともに、バランスの取れた食事・適度な運動・休養・睡眠など体調管理を心掛けてください。
- 「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA:COVID-19 Contact Confirming Application)」は利用が増えることで効果が高くなることが期待されます。利用をお願いします。
- 試験終了後に新型コロナウイルスの感染が判明した受験生や試験監督者等がいた場合、濃厚接触者の特定など保健所や行政機関の調査に協力します。

試験当日の注意点

<大学構内や試験室>

- 大学構内は飲食時を除き、マスクを着用してください。着用していない方は入構できません。
- 入構受付時に検温を行い、37.5度以上の見込みがある方はお声かけします。
- 発熱や咳などの症状がある場合は入構受付係に申し出てください。受験の可否を判断します。
- 入構受付時のほか、試験室の入退室時に手指の消毒を行ってください。試験室ごとに速乾性アルコール製剤を設置します。
- 試験室への入退室時に混雑が予想される場合は、試験監督が順番について指示しますので従ってください。
- 休憩時間や面接試験の待機時でも他者とは距離を空け、会話は控えてください。
- 午前・午後に試験がある場合は昼食を持参してください。食堂等の利用や構外へ出ることができません。原則として午前もしくは午後の試験教室で食事をとっていただきます。別室の場合は案内があります。

<試験中>

- 試験中もマスクを着用してください。試験監督が本人確認のために一時的にマスクを外すように指示する場合があります。その際は試験監督の指示に従ってください。
- 換気のために試験室の窓を開放したままにする場合があります。室内が寒くなる可能性がありますので、試験の妨げにならないような上着を持参してください。

<試験終了後>

- 学内にマスクを廃棄しないでください。
- 寄り道せず自宅や宿泊先に戻り、すぐに手洗い、洗顔、うがいなどを行ってください。
- 受験後に新型コロナウイルス等の感染症に罹患した場合は武蔵野美術大学入学センター(042-342-6995, nyushi@musabi.ac.jp)へ連絡してください。

<保護者や作品搬出入時の介助者付き添いについて>

- 受験生以外は入構できません。控室も用意しません。
- 作品の搬出入で介助が必要な場合は最小限の人数で入構し、速やかに退構してください。車両の運転手を含め全員が、受験生と同じく、入構時の検温をうけること、手指を消毒すること、マスクを着用することが必要です。
- 受験上の配慮をご希望の方は、介助者の入構も含めて申請してください。付き添いの可否を含めて判断し、通知します。